

# 御所南小の児童数増への対応について

## —新校舎は「独立校」に、基本設計が確定—

平成27年2月

平素は、御所南小学校の教育に、ご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、平成30年4月の新校舎開校に向けた準備を進めています。

今年度、

- ・元春日小跡地への新校舎建設に向け、**基本設計を確定**しました。引き続き、実施設計の計画・立案を図ってまいります。
- ・新校舎に通学する学区については、**春日学区、銅駝学区とする方針が決定**されました。
- ・学校の位置づけ（独立校か分校か）については、ご議論の上、**独立校とする方針が決定**されました。今後とも、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

### ◆これまでの経過◆

御所南小学校では、平成7年の開校当時600人台であった児童数が、現在1,200人を超えています。この児童の過密状態の改善に向け、9学区の代表と保護者代表等からなる「御所南小学校未来構想検討委員会」での議論を経て、「新校舎の整備場所は、元春日小跡地とし、通学は春日・銅駝学区から行う」とする対応指針が取りまとめられました。

また、新校舎の基本計画策定に向けた校舎の配置案についてご議論いただき、平成26年1月8日開催の未来構想検討委員会において最終的に案を決定しました。

新校舎への通学は、平成26年6月2日開催の未来構想検討委員会で春日学区・銅駝学区とする方針を決定しました。

### ●新校舎は独立校に！！

新校舎を「独立校」とするか御所南小の「分校」とするかについては、新校舎に通学する春日学区・銅駝学区の住民の方々による熱心な検討を経て、平成26年12月15日の未来構想検討委員会において、春日学区・銅駝学区の意見を尊重して、新校舎は「**独立校とする**」方針を決定いただきました。

新しい学校では、グローバル化社会を生きる子どもたちに次代を見すえた教育を実践するとともに、地域や保護者の皆さんが学校を中心につながる地域交流の拠点としての学校（コミュニティ・スクール）を目指していきたいと考えています。また、京都御池中学校区の学校として、5・4制の小中一貫教育を実施します。今後、教育委員会において教育構想等の検討を進めることとなりますが、保護者、住民の皆様からもアイデアを出していただき、春日学区・銅駝学区の子どもたちにとって、よりよい学校となるよう取り組んでまいります。

御所南小学校、京都市教育委員会

ご意見やご要望がございましたら、学校までお寄せください。（電話 223-0148, Fax 223-0149）

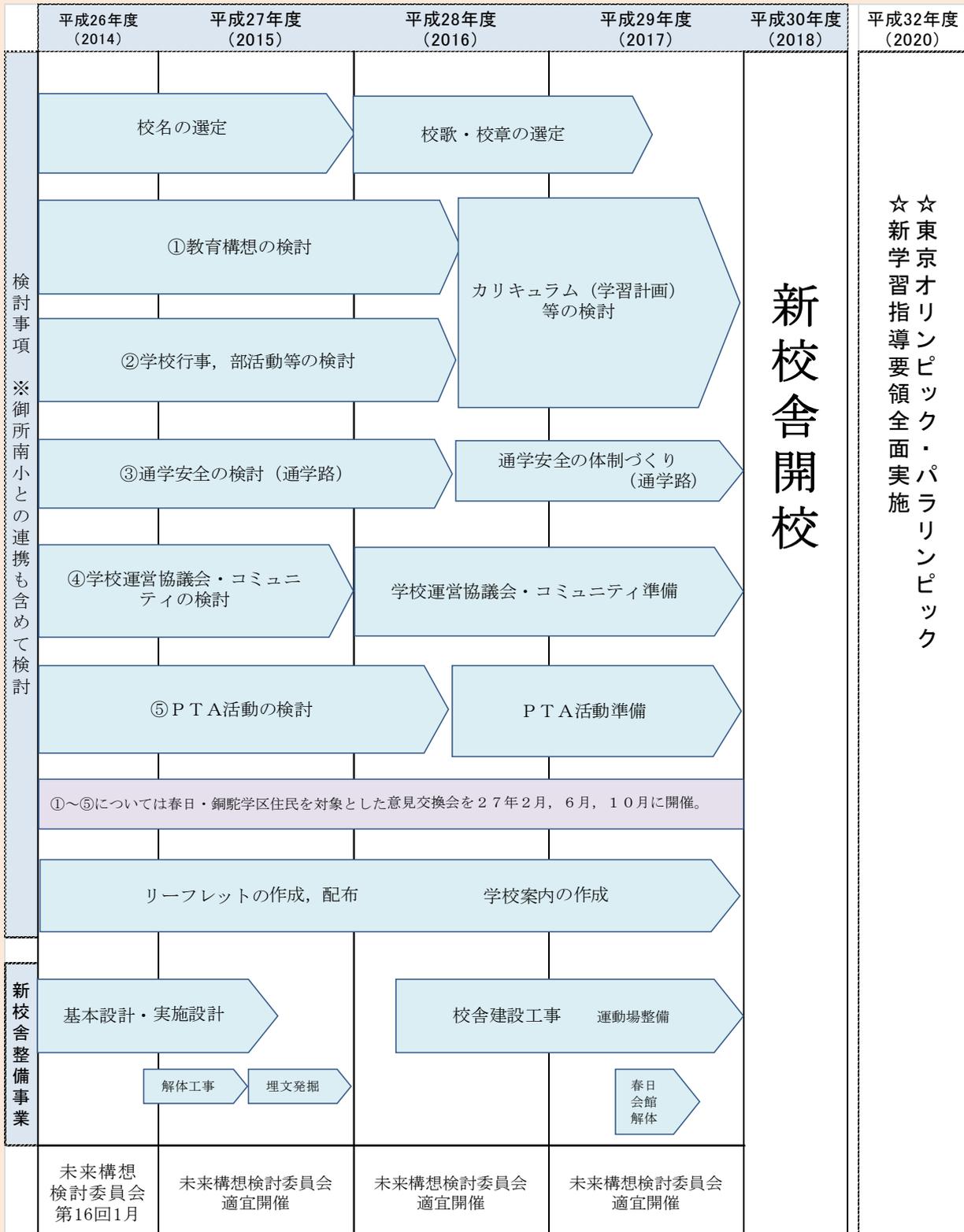
## ●今後の取組について

### ■新校舎の校名案について

新校舎の開校に向け、春日学区・銅駝学区の子どもたちが自分たちの学校に愛着と誇りをもつとともに、保護者、住民の方々に地域の学校としての思いを深めていただく契機とするため、両学区の住民の方を対象に校名案の公募を行います。公募の詳細については、後日お知らせします。

公募された校名案の中から、8月頃までに春日学区・銅駝学区の意見を尊重し、未来構想検討委員会で新校舎にふさわしい校名案を選定します。

### 新校舎開校に向けたタイムスケジュール



## ● 新校舎の「基本設計」が確定！！

基本設計・実施設計については、前年度決定した新校舎の施設案をもとに、学校及び教育委員会、都市計画局で検討し、平成26年9月17日の未来構想検討委員会において、基本設計の途中経過を報告しました。その後、さらに学校及び教育委員会、都市計画局で検討して、下記の改善を加え、基本設計を確定し、12月15日の未来構想検討委員会で報告しました。

今後、基本設計を基に実施設計を作製し、校舎建築へと進めてまいります。(図面参照)

※新校舎の外観イメージ



### (前回報告からの主な改善点)

#### ■次代を見据えた教育と地域の交流の拠点

##### ◆メディアセンターを情報交流の拠点に

- ・2階に学習情報センター（コンピュータ室）、読書センター（図書室）と一体的に活用できるように多目的室を配置し、メディアセンターとしての機能を充実できるように考えています。
- ・4階のラーニングエリアは高学年児童のグループでの学習や個別学習に利用できるようにしています。

##### ◆学校を地域交流の拠点に

- ・人が集まる拠点となるランチルームに冬季はペレットストーブを設置します。ストーブを囲んで話をするなど室内を温もりのある空間とします。

#### ■環境と安心・安全に配慮

- ・保健室を運動場、育成学級からの動線を考慮して校舎1階南側に、校長室を北側に配置します。
- ・井戸を掘り、散水等に活用できるようにします。
- ・二酸化炭素の排出を抑えるため、京都市低炭素仕様に基づく施設とし、木材を最大限利用します。

#### ■歴史ある地域と調和

- ・外観等については、全体的に明るい仕様にします。

### ☆新校舎建設工事にあたって

#### 周辺地域の皆様にご理解・ご協力のお願い

新校舎建設に向けて、いよいよ元春日小学校旧校舎等の解体が始まります。周辺地域の皆様には、振動・騒音等で大変ご迷惑をおかけすることになりますが、工事の影響を最小限に抑えるとともに安全に十分配慮してまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

